

令和 3 年 1 0 月 期 (第 7 8 回) 番組審議会 議事録 (抄)

開催日時 : 令和 3 年 1 0 月 7 日 (木) 午後 7 時から 7 時 4 0 分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波 8 2 5 番地の 1
NPO 法人京丹後コミュニティ放送 1 階事務所内

委員の出席 : 委員総数 5 名

出席委員数 : 5 名

放送事業者 : 2 名

側出席者

開会

事務局から令和 3 年度第 3 回目の番組審議会の開会宣言の後、理事長挨拶と出欠確認、議事録署名人

として、角江氏と川村氏にお願いをし、了承が得られた。

活動報告等

番組審議

「H I S A 海の京都物語」令和 3 年 1 0 月 2 日 (土) お昼 1 2 時 3 0 分～ (3 0 分)

議事概要

コミックのプロの漫画家さんです。週間少女コミックスなど、子どもの頃に読んだことがある冊子に連載をされていたこともあるそうです。現在は、WEB 上の電子コミックスで主に活動されているようです。現在舞鶴市在住。最初に地元舞鶴で自作 PR がしたいとの思いで、地元のラジオ局へ行かれたようですが、時間の関係等で難しく番組には至らなかったようです。その後、当局へ連絡があり話をする中で、H I S A 海の京都物語という漫画制作にあたり、宮津市や舞鶴市にも前向きに協力してもらっているとの事と、丹後の話を書かれている事などから、台本を作り、それを伝えるというスタイルの番組にしていく話にまとまりました。

審議内容

(委員) まったりとした語り口調ですね。

(委員) 3 0 分しゃべりっぱなしですか。

(委員) BGM が気になりましたが。

(局側) 少し大きめにしています。台本を 1 枚ずつ読むスタイルなので、間が空く場合があるので、無音にならないようにしているのと、BGM が大きいことによって、自分の声も大きくしないとモニターできないと思ってもらえるように BGM は大きめにしています。実際声を張ってしゃべってもらえるようになりました。

(委員) ずっと 1 人でやっていかれるのです。

(局側) その予定です。収録も 1 人でやってもらっています。

(委員) 聴きやすさは普通ですね。

(委員) 抑揚があるなしは、好みもありますが、抑揚がないのは物足りない感じがしました。

(委員) 物語の説明の膨らみをもっとほしい。

(局側) 自分の漫画を描くための取材を色々な所に行っておられるようです、一般に躊躇しそうな場所にも積極的に言っておられる。あくまでも自分の漫画の参考に行っておられるので、絵づらや雰囲気であったりの所の取材をされているので、それが何にどういう風に使われているのか、なかなか難しく掘り下げてしゃべってはおられないと思います。

(委員) あえて大きくされているBGMがクリアに聴こえすぎて、おしゃべりを聴くことができなかった。悪い感じではなく、音楽のわからない者からするとBGMが合っているのかわからなかった。

(委員) BGMは本人が選んだのか。

(局側) 何曲か候補を上げ選んでいただきました。

(委員) BGMの音量を下げることはできますね。やはりBGMが気になりました。

(委員) 丹後の地域の事も話してもらえたらいいですが。

(局側) 組後半で丹後の昔話をされるのですが、どれくらいの素材があるのかわからないので、この先少し気になるところです。

(委員) 昔話も1回の放送で完結しませんでしたね。続きが気になる。やはり一話完結の方が聴きやすいのでは。

(局側) 局として、番組を聴いてもらうことで、電子書籍への導引と漫画ファンの方にFMたんごを知ってもらえる機会になればと考えています。

(委員) たまに一人でなく、もう一人誰か入ってもらい掛け合いをした方がテンポもよくなり変化がでるのでは。H I S Aさんの良い所を引き出してくれる人がいたら。

(委員) 往年のファンの方に話をしてもらってもよいのでは。丹後におられるかも。

以上、意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置及びその年月日

番組担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた。

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 当局事務所内に掲示

② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他の参考事項

特になし